

7月21日(日)  
勉強会

テーマ：「愛するペットとのお別れ」

講師：坂川 逸海氏

(福井県支部支部長、どうぶつセレモニーおおぞら斎場長、  
福井県動物愛護管理推進計画行動委員、動物霊園火葬埋葬法の制定を  
めざす会代表、元北陸三県動物専門学校講師)

場所：生駒セイセイビル



ペットロスの相談員で自らもその経験をお持ちの坂川氏より、参加者にとって一番の関心事であるペットロスを中心に、その予防法や対処法を教えてくださいました。ペットロスは誰にでも起こる正常な反応ですが、ペットへの過剰な愛情やペットロスの誤った知識を持つことで、日常生活をおくれなくなるほど深刻な事態に陥ることがあるそうです。愛するペットとの別れを考えるのは辛いことではありますが、必ず訪れるその日の事を心に留め、精一杯の飼育をすることがペットに対する優しさだと強く感じました。



### 心に残った言葉

「ペットの死から立ち直ることが本当の意味での終生飼養です。共に暮らした日々はいつまでも心の中に生き続けています。」



### \* 深刻なペットロスになりやすい人

ペットを擬人化する、依存し過ぎる、人と同じように扱う、すべてにおいてペットを優先させる、いないと生きていけないと思う

### \* ペットロス予防法

日頃からペットの話ができる相手を作っておくと、ペットの死後悲しみを共有してもらえる

### \* ペットロス対処法

ペットへ手紙を書いたり絵を描くことで心の整理をする、ペットロスに関する専門書や本を読む、涙を流しありのままに悲しむと正常な精神状態に戻ることができる

### ★伝言板★ 冬に多い猫の病気・・・の巻

猫は犬に比べるとそれほど水を飲みませんが、冬になると更にその量が少なくなります。それによりオシッコの量や回数が減ると、泌尿器系の病気になるので気をつけましょう。トイレは常に清潔にして我慢させないようにし、飲み水は数ヶ所に置いて好きな時に飲める環境にしてあげましょうね。



※10月24日(木)

動物愛護センターで「動物慰霊祭」が行われました。奈良県支部から2名が参加し、亡くなった動物達の冥福を祈りました。センターでは新しい犬猫舎を増設中で、返還・譲渡数増加の取り組みに力を尽くしておられます。

(慰霊碑の前に供えられた

お花やフード) →

